

高知県感染症発生動向調査（週報）

2017年 第20週 （5月15日～5月21日）

★お知らせ

○手足口病に気を付けて！

須崎で警報値である5.00を超えています。

定点医療機関当たりの報告数は第19週の0.10から第20週では0.83と急増しています。須崎、高知市、幡多、中央東で急増し、須崎では警報値を超えています。

全国でも定点医療機関当たりの報告数は第13週以降増加が続いているために注意が必要です。

手足口病は、4歳くらいまでの幼児を中心に夏季に流行が見られる疾患であり、2歳以下が半数を占めますが、学童でも流行的発生がみられることがあります。特に、この病気にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活をしている保育施設や幼稚園などでは注意が必要です。

この病気は、通常は3～5日の潜伏期をおいて、口の中、手のひら、足の裏や足背などに2～3mmの水疱性発疹ができ、時に肘、膝、臀部などにも出現します。ほとんどの発病者は数日間のうちに治る病気ですが、ごくまれに髄膜炎や脳炎などを生じることがありますので、高熱や嘔吐、頭痛などがある場合は注意してください。また、倦怠感や口腔内の痛みなどから食事や水分を十分にとれず、脱水になることもありますので、こまめな水分補給を心がけてください。

回復後も2～4週間の長期にわたり便からウイルスが検出されることがあるので、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けましょう。特に、外出後、食事の前、トイレの後に手洗いをしましょう。

○咽頭結膜熱（プール熱）に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第19週の0.87から第20週では0.33と急減しています。中央東、高知市で急減し、幡多では減少していますが、須崎、中央西で急増し、須崎では注意報値を超えています。

咽頭結膜熱は、アデノウイルス感染による、発熱（38～39度）、のどの痛み、結膜炎を主症状とする小児に多い疾患で、例年5月中旬から下旬頃にかけて患者数が増加し始め、7月下旬から8月上旬をピークとする流行が見られる夏期の疾患で、プールを介して流行することが多いことから、「プール熱」とも呼ばれています。

感染経路は通常、飛まつ感染または手指を介した接触感染ですが、プールでは眼の結膜からの感染も考えられています。以下のことに気を付け、感染予防に努めましょう。

- 1) 流行時には流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。
- 2) 感染者との密接な接触は避けましょう。
- 3) タオル等は別のものを使いましょう。
- 4) プールからあがった時はシャワーをよく浴びましょう。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第19週の4.10から第20週では3.80と横ばいです。県全域から報告があり、安芸、須崎で増加しています。

定点医療機関からのホット情報ではロタウイルス18例の報告があり、基幹定点からの感染性胃腸炎（ロタウイルスに限る）が12例報告されるなど、ロタウイルスの報告が増加しています。また、カンピロバクター属菌や病原性大腸菌など細菌を原因とする胃腸炎8例の報告や、胃腸炎の増加が報告されています。

学校等欠席者・感染症情報システム※でも7例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

ロタウイルス感染性胃腸炎とは、3月から5月頃にかけて乳幼児を中心に流行するロタウイルスによる胃腸炎で、主な症状は、水のような下痢、吐き気、嘔吐（おうと）、発熱、腹痛です。脱水症状がひどくなると点滴が必要となったり、入院が必要になることがあります。

予防には手洗いが有効です。帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。また、便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

また、ロタウイルスによる感染症の予防対策には予防接種があり、乳幼児を中心に受けることができますので、かかりつけの医療機関にご相談ください（任意接種）。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。これら細菌による感染性胃腸炎の予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（①つけない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））を励行しましょう。

○A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎に気を付けて！

定点医療機関からの報告数は第19週の1.97から第20週では1.80と横ばいです。幡多では増加しています。

学校等欠席者・感染症情報システム※でも18例の報告があることから、引き続き注意が必要です。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる飛まつ感染、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる接触感染が主な感染経路です。

主症状は1週間以内に消失する予後良好の疾患ですが、まれに重症化し猩紅熱に移行する場合があります。合併症には肺炎、髄膜炎、肺血症などがありますので、うがい、手洗いなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○インフルエンザに気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第19週の0.71から第20週は0.25と急減し、流行の目安である1.00を下回り非流行期となりましたが、幡多では1.13と増加しています。まだ患者報告は続いていますので外出後の手洗い等の感染予防を心がけましょう。

症状がある方は咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も感染予防には有効です。

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

☆山や草むらでの野外活動の際にはマダニに注意！

日本紅斑熱の発生届けが第20週に1例ありました。

日本紅斑熱やSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

キャンプ、ハイキング、登山、ゴルフ、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。この時期、野山に生息するマダニに刺されることで感染症を起こすことがあります。

全てのマダニが病原体を持っているわけではありませんが、これらのマダニに咬まれないようにすることが感染の予防になります。（予防するためのワクチン等はありません。）

野山や畑、草むら等に出かける時には長袖・長ズボンを着用し、シャツの裾はズボンの中に入れ、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる等、肌の露出を少なくし、マダニ用の忌避剤を使用する等して、効果的な対策を自ら取ることが大切です。

発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～2週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。また受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

●高知県衛生研究所 マダニによる感染症の注意喚起パンフレットを作成しました。

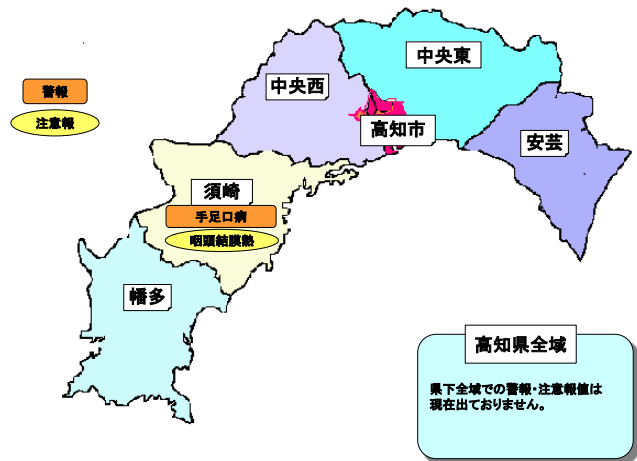
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2016061300063.html>

★県内での感染症発生状況

定点把握感染症（上位疾患） ↑：急増 ↗：増加 →：横ばい ↘：減少 ↓：急減
 20週（5月15日～5月21日）

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	3.80	安芸、須崎で増加していますが、中央西で急減、中央東で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.80	幡多で増加していますが、安芸で急減、須崎、中央東、中央西で減少しています。
手足口病	↑	0.83	県全域、須崎、高知市、幡多、中央東で急増し、須崎では警報値を超えています。
突発性発疹	→	0.63	安芸、幡多で急増し、中央東では増加していますが、須崎では急減、高知市で減少しています。
水痘	→	0.60	中央西、幡多、須崎で急増していますが、安芸、中央東では急減しています。

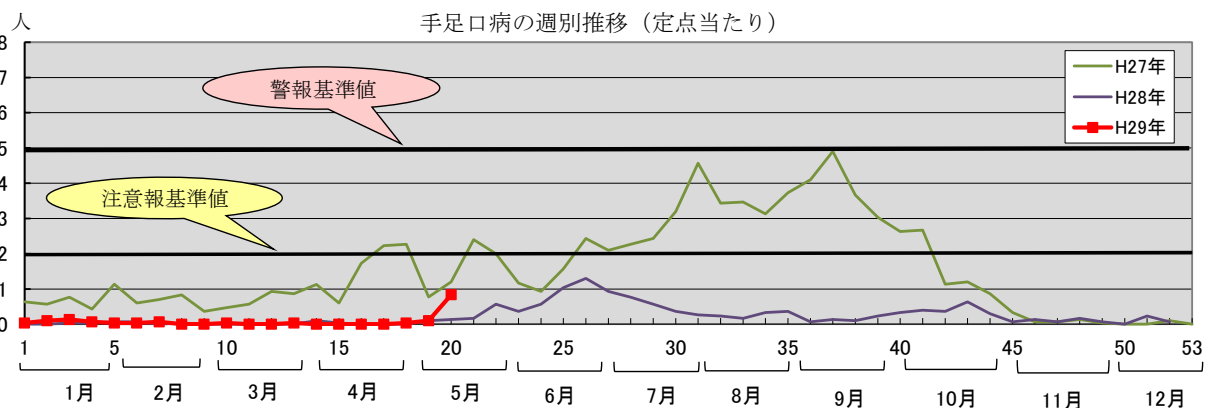
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

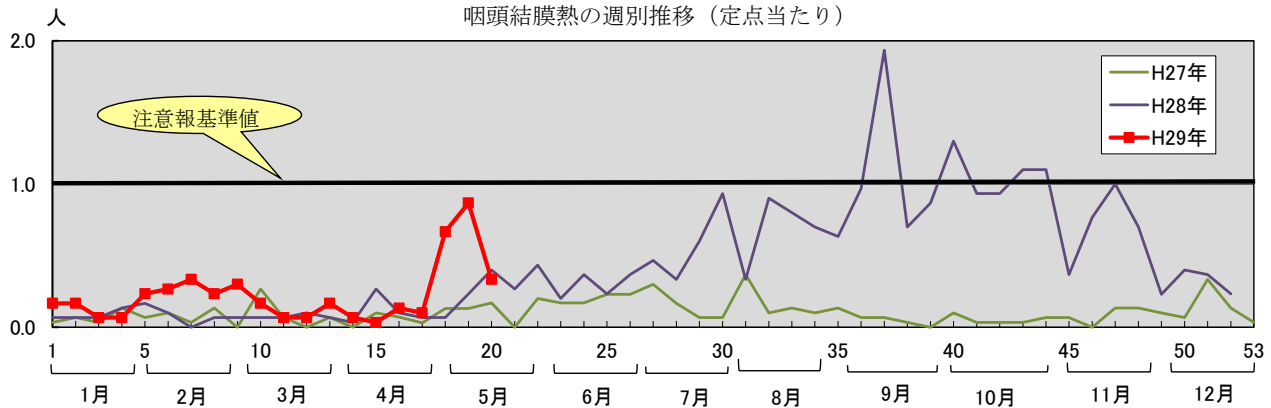
○手足口病 第20週：0.83（注意報値：2.00 警報値：5.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.83（前週：0.10）と急増しています。須崎5.50（前週：0.00）高知市1.09（前週：0.27）幡多0.20（前週：0.00）中央東0.14（前週：0.00）で急増し、須崎では警報値を超えています。年齢別にみると、全ての患者が4歳以下になっています。



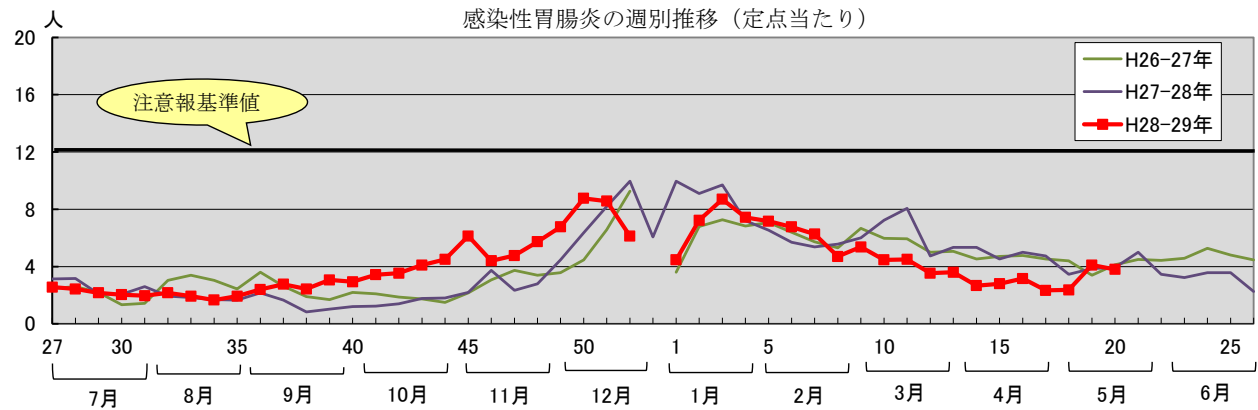
○咽頭結膜熱（プール熱） 第20週：0.33（注意報値：1.00 警報値：3.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり0.33（前週：0.87）と急減しています。中央東0.14（前週：0.29）高知市0.09（前週：1.73）で急減、幡多0.60（前週：1.00）で減少していますが、須崎2.00（前週：0.00）中央西0.33（前週：0.00）では急増し、須崎では注意報値を超えています。



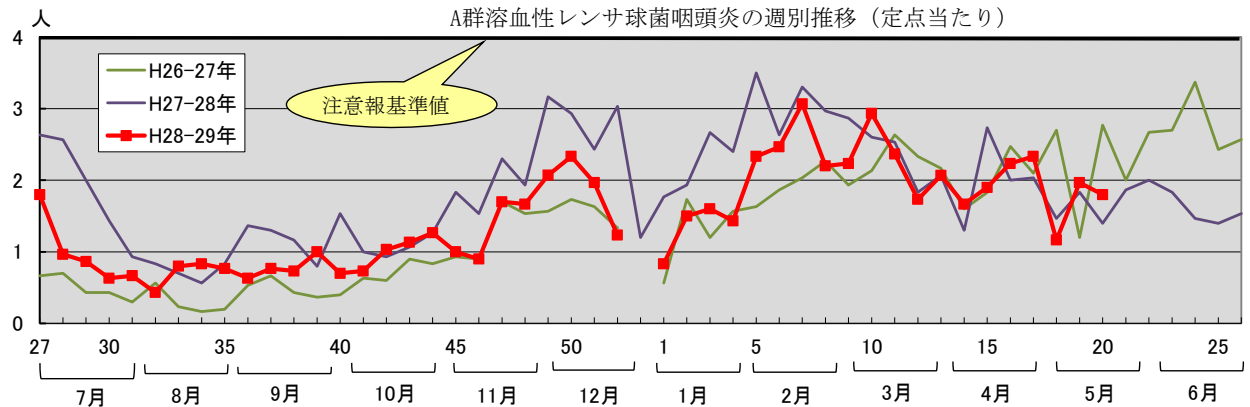
○感染性胃腸炎 第20週：3.80（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり3.80（前週：4.10）と横ばいです。安芸7.00（前週：5.50）須崎1.50（前週：1.00）で増加していますが、中央西0.67（前週：1.67）で急減、中央東3.86（前週：4.86）で減少しています。



○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第20週：1.80（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり1.80（前週：1.97）と横ばいです。幡多2.80（前週：2.00）で増加していますが、安芸0.00（前週：0.50）で急減、須崎1.50（前週：2.00）中央西1.00（前週：1.67）中央東0.86（前週：1.29）で減少しています。



※グラフの途切れについて
 H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。
 そのため、H26-H27年とH28-H29年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
20	百日咳	咳漱,	4	女	幡多	<i>Bordetella pertussis</i>

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
17	インフルエンザ様疾患	38℃, 咳漱, 上気道炎,	6ヶ月	女	幡多	Rhinovirus
19	不明熱 (EB疑い)	39℃, 下痢,	1	男	須崎	Cytomegalovirus Epstein-Barr virus
19	不明発疹症	発疹,	7ヶ月	男	須崎	Cytomegalovirus
19	-	39℃,	14	男	中央東	Human herpes virus 7
19	急性気管支炎	39℃, 咳漱, 上気道炎, 下気道炎	1	男	中央東	Parainfluenza virus 3

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	34	30歳代 男	中央東
		1		30歳代 男	高知市
		1		80歳代 女	
		1		80歳代 男	中央西
4類	日本紅斑熱	1	2	60歳代 女	高知市
5類	梅毒	1	8	80歳代 女	須崎
		1		70歳代 女	中央東
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	13	60歳代 男	高知市
		1		70歳代 男	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	野市中央病院小児科	病原性大腸菌 O-20 (ペロ毒素 (-)) 1例 (1歳女)
	早明浦病院小児科	アデノウイルス感染性胃腸炎 1例 (1歳男) マイコプラズマ肺炎 1例 (6歳男)
	おひさまこどもクリニック	耳下腺炎 2例 (2例ともムンプス IgM 陰性) 顎下腺炎 1例 (ムンプス IgM 陰性)
高知市	けら小児科・アレルギー科	百日咳 1例 (5歳女: PT-IgG 160Eu/ml 以上) マイコプラズマ肺炎 3例 (3歳女、8歳女、10歳女) ロタウイルス 3例 (1歳女、2歳女、3歳男) 病原性大腸菌 O-1 腸炎 1例 (11歳男) 病原性大腸菌 O-18 腸炎 1例 (1歳男) カンピロバクター+病原性大腸菌 O-8 腸炎 1例 (5歳男) カンピロバクター+病原性大腸菌 O-18 腸炎 1例 (12歳男) アデノウイルス扁桃炎 1例 (1歳女)
	高知医療センター小児科	病原性大腸菌 1例 (6歳男) ロタウイルス 4例 (11ヶ月男、2歳男女、5歳男)
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症 8例 水痘 3例 感染性胃腸炎が続いている 手足口病などもではじめている
	細木病院小児科	カンピロ 1例 (3歳女) ロタウイルス 6例 (11ヶ月男、1歳男、2歳男、3歳男 3人)
	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症 1例 (6歳女)
	国立病院機構高知病院小児科	感染性胃腸炎 (ロタウイルス) 2例 (1歳女)
中央西	くぼたこどもクリニック	マイコプラズマ肺炎 1例 (11歳男) 溶連菌感染症 1例 (3歳女: 南国市)
	日高クリニック	マイコプラズマ気管支炎 1例 (3歳男)
須崎	もりはた小児科	感染性胃腸炎 3例 (ロタウイルス: 2例、ノロウイルス: 1例) 手足口病が増加し始める 咽頭結膜熱増加
幡多	さたけ小児科	マイコプラズマ 1例 (7歳男) 水痘 1例 (1歳女: ワクチン 1回接種) ロタウイルス 1例 (2歳女) カンピロバクター腸炎 1例 (2歳男) 帯状疱疹 1例 (1歳男)

★全国情報

第17号(4月24日～4月30日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核358例

3類感染症：細菌性赤痢3例、腸管出血性大腸菌感染症29例、腸チフス3例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎6例、A型肝炎6例、オウム病1例、重症熱性血小板減少症候群1例

つつが虫病4例、デング熱1例、日本紅斑熱4例、マラリア1例、レジオネラ症22例

5類感染症：アメーバ赤痢9例、ウイルス性肝炎5例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症13例

急性脳炎9例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症12例

後天性免疫不全症候群16例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症4例

侵襲性髄膜炎菌感染症2例、侵襲性肺炎球菌感染症66例、水痘(入院例に限る)2例

梅毒81例、播種性クリプトコックス症1例、破傷風1例、風しん6例、麻しん8例

報告遅れ：E型肝炎1例、チクングニア熱1例、つつが虫病1例、デング熱1例、レジオネラ症1例、

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症9例、急性脳炎9例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例

水痘(入院例に限る)2例、梅毒41例、播種性クリプトコックス症1例

バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、麻しん2例

第18号(5月1日～5月7日)

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核179例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症21例

4類感染症：E型肝炎6例、A型肝炎1例、重症熱性血小板減少症候群2例、つつが虫病3例

デング熱1例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症12例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症9例

急性脳炎2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例

後天性免疫不全症候群9例、侵襲性インフルエンザ菌感染症4例、侵襲性肺炎球菌感染症41例

水痘(入院例に限る)4例、梅毒38例、播種性クリプトコックス症2例、破傷風2例、風しん1例

報告遅れ：つつが虫病1例、レジオネラ症1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症5例、

急性脳炎6例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症5例、水痘(入院例に限る)1例

梅毒17例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第20週 平成29年5月15日(月)～平成29年5月21日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第20週							計	前週	全国(19週)	高知県(20週未累計) H29/1/2～H29/5/21	全国(19週未累計) H29/1/2～H29/5/14
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ*	インフルエンザ				2	1			9	12 (0.25)	34 (0.71)	6,786 (1.37)	14,597 (304.10)	1,343,246 (271.03)
小児科	咽頭結核膜炎		1	1	1	1	4	3	10 (0.33)	26 (0.87)	2,079 (0.66)	135 (4.50)	22,196 (7.02)	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		6	28	3	3	14	54 (1.80)	59 (1.97)	9,321 (2.94)	1,195 (39.83)	133,658 (42.26)		
	感染性胃腸炎	14	27	54	2	3	14	114 (3.80)	123 (4.10)	22,893 (7.23)	2,863 (95.43)	352,174 (111.34)		
	水痘			10	3	1	4	18 (0.60)	20 (0.67)	1,779 (0.56)	254 (8.47)	21,733 (6.87)		
	手足口病		1	12			11	1	25 (0.83)	3 (0.10)	1,643 (0.52)	45 (1.50)	12,673 (4.01)	
	伝染性紅斑								()	3 (0.10)	249 (0.08)	71 (2.37)	4,666 (1.48)	
	突発性発疹	2	5	6	1	1	4	19 (0.63)	16 (0.53)	1,849 (0.58)	208 (6.93)	24,964 (7.89)		
	百日咳			1					1 (0.03)	()	35 (0.01)	15 (0.50)	454 (0.14)	
	ヘルパンギーナ		1						3 (0.10)	()	307 (0.10)	7 (0.23)	2,098 (0.66)	
	流行性耳下腺炎				1			4	1	6 (0.20)	3 (0.10)	1,853 (0.58)	131 (4.37)	36,493 (11.54)
	RSウイルス感染症				2					2 (0.07)	5 (0.17)	636 (0.20)	222 (7.40)	16,149 (5.11)
	眼科	急性出血性結膜炎								()	()	14 (0.02)	()	153 (0.22)
		流行性角結膜炎			1					1 (0.33)	1 (0.33)	630 (0.91)	9 (3.00)	6,971 (10.04)
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	16 (0.03)	1 (0.13)	191 (0.40)	
	無菌性髄膜炎								()	()	17 (0.04)	3 (0.38)	288 (0.60)	
	マイコプラズマ肺炎			1					1 (0.13)	1 (0.13)	121 (0.25)	56 (7.00)	3,395 (7.12)	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)								()	()	2 ()	6 (0.75)	102 (0.21)	
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)			12					12 (1.50)	4 (0.50)	319 (0.67)	41 (5.13)	3,793 (7.95)	
計 (小児科定点当たり人数)	16 (8.00)	41 (5.85)	131 (10.59)	11 (3.53)	27 (13.50)	52 (9.73)	278 (8.64)			50,549	19,859 (475.63)	1,985,397		
前週 (小児科定点当たり人数)	14 (6.75)	65 (8.94)	154 (13.20)	16 (4.67)	11 (4.75)	38 (6.95)		298 (9.32)						

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第19週							計	前週	全国(18週)	高知県(19週未累計) H29/1/2～H29/5/14	全国(18週未累計) H29/1/2～H29/5/7
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多						
インフルエンザ*	インフルエンザ				0.13	0.20			1.13	0.25	0.71	1.37	304.10	271.03
小児科	咽頭結核膜炎			0.14	0.09	0.33	2.00	0.60	0.33	0.87	0.66	4.50	7.02	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.86	2.55	1.00	1.50	2.80	1.80	1.97	2.94	39.83	42.26		
	感染性胃腸炎	7.00	3.86	4.91	0.67	1.50	2.80	3.80	4.10	7.23	95.43	111.34		
	水痘			0.91	1.00	0.50	0.80	0.60	0.67	0.56	8.47	6.87		
	手足口病		0.14	1.09			5.50	0.20	0.83	0.10	0.52	1.50	4.01	
	伝染性紅斑									0.10	0.08	2.37	1.48	
	突発性発疹	1.00	0.71	0.55	0.33	0.50	0.80	0.63	0.53	0.58	6.93	7.89		
	百日咳			0.09					0.03		0.01	0.50	0.14	
	ヘルパンギーナ		0.14					0.40	0.10		0.10	0.23	0.66	
	流行性耳下腺炎				0.09			2.00	0.20	0.10	0.58	4.37	11.54	
	RSウイルス感染症				0.18				0.07	0.17	0.20	7.40	5.11	
	眼科	急性出血性結膜炎										0.02		0.22
		流行性角結膜炎			1.00					0.33	0.33	0.91	3.00	10.04
基幹	細菌性髄膜炎										0.03	0.13	0.40	
	無菌性髄膜炎										0.04	0.38	0.60	
	マイコプラズマ肺炎			0.20					0.13	0.13	0.25	7.00	7.12	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)										0.75	0.21		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)			2.40					1.50	0.50	0.67	5.13	7.95	
計 (小児科定点当たり人数)	8.00	5.85	10.59	3.53	13.50	9.73	8.64				475.63			
前週 (小児科定点当たり人数)	6.75	8.94	13.20	4.67	4.75	6.95		9.32						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869